

令和5年度 組長懇談会ご意見・ご提言

廿日市市大野第一区

ご意見・ご提言	対応状況等
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化で自治会の運営が心配です。 ● 組長総会での意見等は大切にしてい、ともに実現していきましょう。 ● 住みやすい街づくりに一層協力して参ります(体力的にできる範囲となりますが)。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度現在、一区全役員16名中、30代1名、40代2名、50代2名、60代3名、70代8名で構成されています。30代～50代の現役世代の役員も在任中であり高齢者ばかりではありません。 もちろん60代以降の元気でリタイア後の第二の人生の過ごし方を模索している方にもぜひ役員にチャレンジしていただければと思います。 大野第一区内では高齢化が進んでいる地域もあるものの、世代交代により若い世代の転入が増加している地域もあり、これら若い世代の自治会行事への参加などにより自治会活動は十分持続できるものと考えています。 課題としては若い世代にどのように自治会活動、地域活動に興味を持ち、行事などに参加してもらえようにするかにあると考えています。現在、運動会、夏祭り盆踊り大会、餅つき大会は小中学生の子どもさんに楽しんでもらうように企画していますが、その子どもさんの親世代にも行事に来てもらうことも狙いとしてあり、大野第一区として様々な企画を検討しているところです。 ● 組長総会での意見等は出来る、出来ないがありますが、本会運営に反映させていくようこれからも務めてまいります。また、高齢という壁があるものの街づくりに対する前向きなご意見が存在し、事業運営に活かしていきたいと思ひます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化により防災係選出する3人が非常に難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災係にお願いしていることは、地震等何か災害が生じた際の安否確認(声掛け)です。防災は自助、共助が基本です。「3人」ということが現状では不可能であれば、組内で話し合い等により、担当可能な方をお願いするなど現状に対し柔軟な対応をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 春・秋の公園清掃について。高齢化により清掃参加が難しくなっていて参加人数も減少している様に思われます。費用がかさむかもしれませんが業者委託方法を考えて頂き度思ひます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園の清掃(本区内17カ所の内16カ所)は年2回実施しています。清掃作業は体調の許す範囲で行っていただければ十分です。これ以外に定期的に環境衛生部会(花ひろば)が機械を使った草刈りや枝の剪定を行い公園環境の維持に努めています。 春・秋の公園清掃は公園の清掃ももちろん目的の一つではありますが、近隣住民同士や親子が清掃に参加することによって作業をしながら交流を深めていただくことも大きな目的にしています。以上のような目的から外部業者への委託は考えていません。

<p>● 調整池周りの樹木が上に伸びすぎて強風の時、枝が電線にあたり危険な為、定期的に剪定できるようお願いします。</p>	<p>● 調整池の管理・責任は市となっています。樹木が伸びすぎる等の調整池の状況について大野支所担当部署に連絡を行う（情報提供）と、直ぐにはないですが、市の方で①伸びすぎた樹木を剪定し、②電線にあたる危険性を中国電力に伝えるようになっていきます。この度の定期的な剪定の要望等があれば、一区として市にその旨を要望するようしていきたいと思えます。</p>
<p>● 公園が1区内にあちこちあります。この公園内に・すべり台・ブランコ・ジャングル等々設置されていますが、その中で何の遊具もないところがあります。これは特に規定がないのでしょうか。</p>	<p>● 公園施設は市の管轄になっています。公園内でのすべり台等の設置について市の規定はありません。市では地域の要望があれば、地域の状況を踏まえ設置計画を検討しますとのこと。</p>
<p>● 団地で野良猫が増えて庭や通路等への糞尿で困っているとの話があります。(全地域でないかもしれませんが)野良猫が集まらないよう、餌を与えないなど回覧板で注意喚起してはいかがでしょうか。</p>	<p>広島県動物愛護センターでは糞尿だけでなく感染症・交通事故に対し「猫の完全室内飼育」を推奨しており、この周知・ルール化を大野第一区でもすすめていきたいと思えます。</p> <p>ただ、餌を与えないように回覧板で訴えても、餌を与える人は猫(動物)の命を救いたいという思いで行っているため止めることは容易ではないと思えます。</p> <p>この他に、以下のような対策をご提案します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 廿日市市生活環境課による野良猫忌避のための「センサー感知超音波装置」の貸出事業へ申し込み装置の貸出しを受ける。 ② 広島県動物愛護センター作成「それでも今すぐ猫の迷惑を防ぎたい！場合の対処法」を行ってみる(廿日市市ホームページにリンクが貼られています)。 ③ 近隣住民の皆さんで活動を行いたいというところがあれば大野第一区としても地域猫活動団体登録も前向きに検討したいと考えています。 <p>※飼い犬などの散歩時の糞の処理についてもよく問題として出ています。この件については現在大野第一区の一部の公園で外国での例を参考に糞対策を試験実施しているところ。ある程度の効果が認められており、大野第一区全体に制度として広げること考えています。</p>
<p>● 回覧板の回数が多いので、もう少し回数を減らしていただきたい。(アパートの回覧板、帰ってくるのが遅い時、すでに次の回覧板が来てしまいますがありました。</p>	<p>● 組内の回覧物には回覧と配布の2種類があり、更に、定期的なもの(毎月、季節)と、非定期的なもの(臨時、緊急)があります。このように多様な回覧物に対し、担当副区長も可能な限り纏めるようにしておりますが、今後もそのように努めます。なお「配布」とは「各世帯へのポスティングすること」が原則となっています。今、一度ご確認をお願いします。</p>

- 今月より大野第一区では「デジタル回覧板」の試験運用を区内一部地域で開始しています。スマートフォンやタブレットで閲覧する回覧板で高齢者でも極力簡単な操作で見ることができるよう配慮されています。極論になりますが、組内のすべての世帯でこのデジタル回覧板が利用可能となればその組は紙の回覧板の回付回数を大幅に減らすことができます(年に2~3回程度)。

しかしスマートフォンを持たない単身世帯もありますので当面は紙の回覧板との併用となる見込です。但しデジタル回覧板の利用世帯は紙の回覧板を飛ばしてもらえようになりたいので回覧板の回付スピードが早くなることは期待できます。

デジタル回覧板は各地域の担当副区長が導入するかどうかの判断を行います。導入が決定されれば今年4月ころからの運用となる見込です。